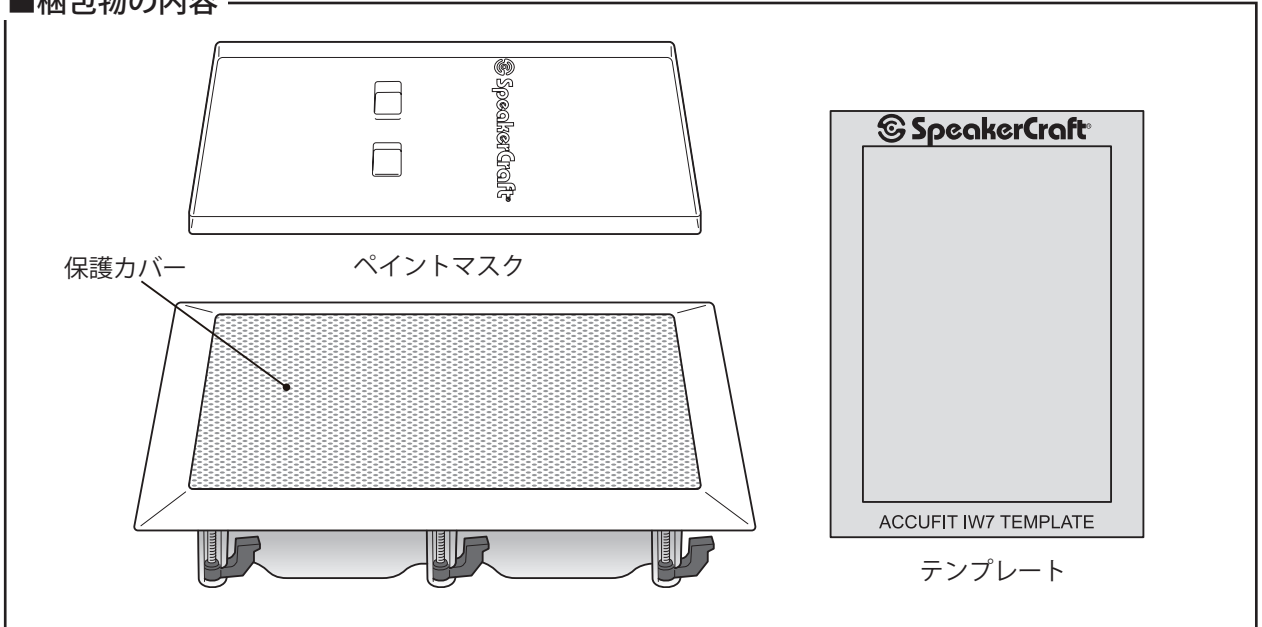


# AccuFit IW7 Three

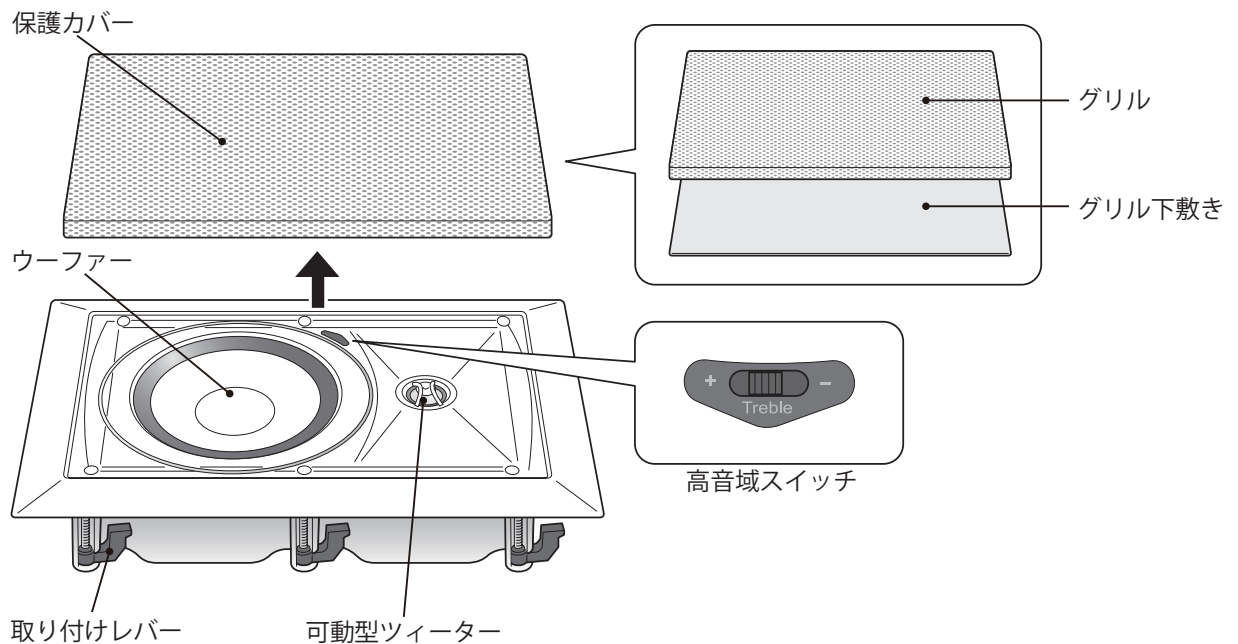
In-Wall Loudspeaker

## 設置マニュアル

### ■梱包物の内容



### ■部位の名称



■お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

■この説明書をよくお読みのうえ、工事の専門技術者が施工を行ってください。この説明書は、必ずお客様にお渡しください。



■施工の際には本機のサイズおよび重量を考慮し、必要に応じて取り付け箇所への補強処理などを行ってください。







## 安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた	
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。	
 <b>警告</b>	誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた	
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。	  高温注意 感電注意
⊘記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。	  分解禁止 めれ手禁止
●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。	  電源プラグをコンセントから抜く 必ずする

## 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにアンプの電源プラグを抜く



- 煙が出ている、変なおいや音がする
  - 本機を落としてしまった
  - 本機内部に水や金属が入ってしまった
- このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

- 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない



水場での使用禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。



水濡れ禁止

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

使用上のご注意

- 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない



禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 長時間音がはずんだ状態で使わない



禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

取り付けのご注意

- 締めつけについて



必ずする

ネジなどによる締めつけは確実に行ってください。緩んだまま使用しますと、事故の原因となります。

- 天井面の切断について



必ずする

天井面を切断する場合は、切断面のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。ケガ・火災・感電の原因となります。

## 警告

### ■ 取り付け場所について



注意

本機は一般屋内専用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所等には、使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。スピーカーを取り付ける壁面や天井面の強度によっては、補強が必要な場合があります。

### ■ 取り付け後のご使用にあたって



禁止

取り付け中、または取り付け完了後に、本機にぶら下がったり、より掛かったり、むやみに力を加えたりしないでください。落下・破損の原因となります。

## 注意

### 接続、設置に関するご注意

#### ■ 取り付け場所について



必ずする

本機を天井面に取り付ける際は、十分な強度のある平らな面を選んでください。



注意

熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。近くで使用しますと、火災や事故の原因となることがあります。

#### ■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない



禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

#### ■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない



注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかりたりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

### 使用上のご注意

#### ■ 音量に注意する



必ずする

突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

#### ■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない



禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消滅することがあります。

### 移動時のご注意

#### ■ 移動時は、アンプの電源プラグや接続コードをはずす



電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

#### ■ 本機の上にものを乗せたまま移動しない



禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。落下や転倒してけがの原因となります。サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

**音のエチケット**／楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。



## スピーカーの配置

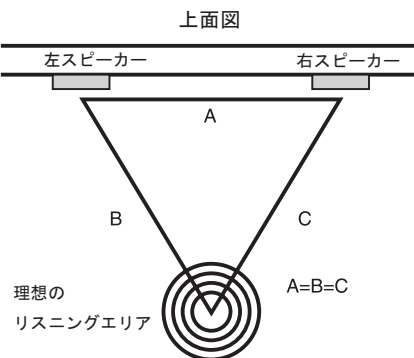
最良のリスニングエリアは、左右のスピーカーがリスナーから同じ距離だけ離れている場所です。前方の左右のスピーカーは、リスナーを1点、各スピーカーを他の2点とした正三角形を形成するように配置する必要があります(図1)。

理想的な音は、ツイーターを耳の高さから少し上に設置したときに得られます。

スピーカーをリスニングエリアから遠い位置に設置する場合は、可動型ツイーターを調整してリスニングエリアに向けるようにします。

※可動型ツイーターを傷つけないよう、ツイーター調整を行う前に本書の「スピーカーの調整」をお読みください。

図1



## 設置の留意事項

スピーカーを壁に設置する前に、電線、配管、その他の固定設備の位置を考慮して、スピーカの設置場所を検討する必要があります。

## 取り付け面の準備

スピーカーを実際に設置する前に、スピーカーの設置予定位置までケーブルを配線する必要があります。

ケーブルを適切に配線できたら、スピーカーの取り付け準備は完了です。

下記の手順で設置してください。

### 1. スピーカーを取り付ける壁面の場所を決めます。

※電線管、空調ダクト、水道などの障害物がない場所を選ぶ必要があります。壁裏に入って、そのような障害物の場所を確認することをおすすめします。

### 2. 希望するスピーカーの取り付け位置に最も近い間柱を見つけます。

※間柱検知用具の使用をおすすめします。

スピーカーを他のインテリア等と整列させて設置したい場合は、バッフルフランジ面の外端が壁面の取り付け穴の外側に位置することに注意してください。

### 3. 取り付け穴を型取りします。

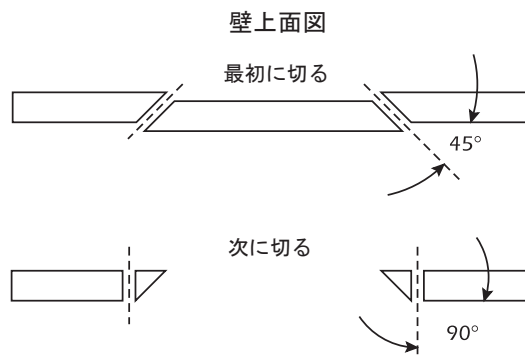
※穴を型取るためのテンプレートが付属していますので、希望の位置にテンプレートを置き、鉛筆で壁面に輪郭を書きます。

### 4. 穴を開けます。

**注意：**これはスピーカーの設置で最も重要な作業です。

希望する取り付け位置の裏に障害物があるかどうか不明な場合は、まず鉛筆で書いた取り付け穴の中央に石膏ボード用のノコギリで小さな穴を開け、穴の内側に向かって45°の角度で切ります(図2)。こうすると、切り取った破片が穴にきれいに収まるので、石膏ボードの修復が容易になります。設置予定場所に障害物がないことを確認したら、壁表面に90°の角度で最終的な穴を切り取ります。

図2



## スピーカーの取り付け

スピーカーに組み込まれている取り付けレバーにより、以下の手順ですばやく取り付けできます。

1. スピーカーからグリルを取り外します。
2. 正しい極性に従ってスピーカーケーブルをアンプとスピーカーに接続します。  
※ + (赤のスピーカー入力) と +、- (黒のスピーカー入力) と - を接続します。アンプの左チャンネルを左のスピーカーに、右チャンネルを右のスピーカーに接続します。
3. 取り付けレバーを内側に曲げてじゃまにならないようにし、スピーカーを壁の穴に入れます。
4. フランジが壁にぴったりと密着するように、バッフル前面の6つのネジを締めます。

ネジを締め込んでいくと、取り付けレバーが自動的に外側に出てきてレバーとフランジの間の石膏ボードが固定されます。(図3)

※ スピーカーのフランジは、曲がることで壁面の小さなゆがみに対応するように設計されています。

**注意：** ネジをきつく締めすぎると、バッフルがゆがんだり、壁がひび割れたり、フランジが変形したり、グリルが取り付けにくくなったりするおそれがあります。

## スピーカーの調整

### 可動型ツイーターの調整

本スピーカーは、ツイーターがバッフルからまっすぐに外側を向いた状態で出荷されます。このため、全体に最もなめらかな特性となります。しかし、特定の場所や部屋の音響効果、個人的な好みにより、ツイーターを特定の方向に向けたほうが音を心地よく感じる場合があります。

リスニングエリアでさらに高音が欲しい場合は、ツイーターをそのエリアに向けます。逆に高音域を抑えたい場合は、ツイーターをリスニングエリアから遠くに向けます。

ツイーターの先端を軽く押して、希望の方向に向けてください。(図4)

**注意：** ツイータードームには触らないでください。金属製のドームが損傷することがあります。

### 周波数特性を調整する

ツイーターの出力は、さまざまな環境に適合するように調整できます。一般に、フラット (0dB) 設定のままにすることをおすすめします。

### 設定を選択する

スピーカーの内側にあるスイッチを希望の設定に動かします。(図5)

図3

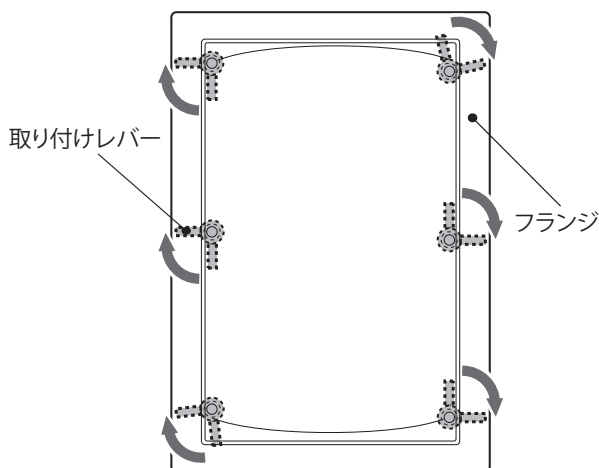


図4

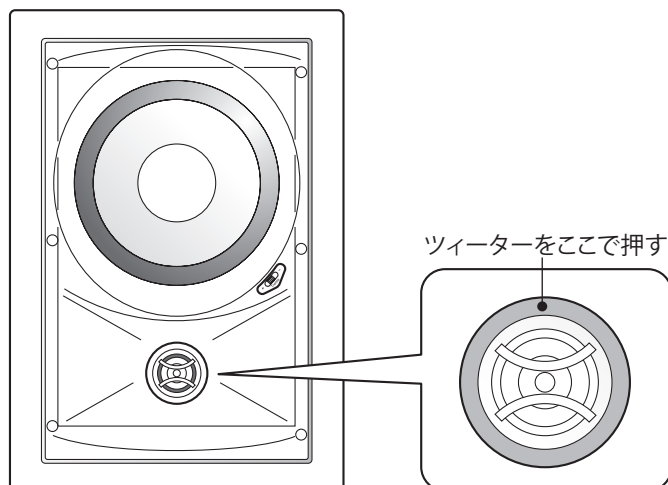
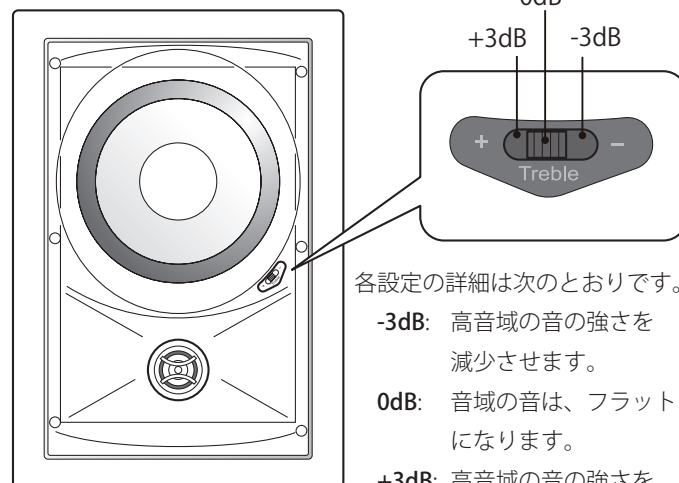


図5



各設定の詳細は次のとおりです。

**-3dB:** 高音域の音の強さを減少させます。

**0dB:** 音域の音は、フラットになります。

**+3dB:** 高音域の音の強さを増加させます。

## スピーカーの塗装

スピーカーを塗装したい場合は、設置前に塗装することをおすすめします。設置後に塗装したい場合は、「スピーカーの取り付け」の手順を逆行に行い、スピーカーを取り外すことをおすすめします。壁に取り付けたままでスピーカーを塗装する場合、フランジの塗装中は、グリルの代わりに付属のペイントマスクを取り付けます。

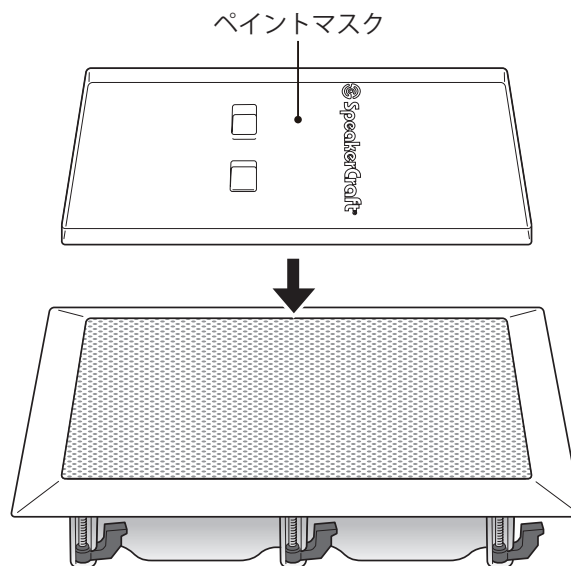
グリルも塗装できますが、穴を塞いでしまわないように細心の注意を払ってください。穴を塞ぐと、スピーカーの音質を大きく損ないます。

塗料は、原液 1、塗料薄め液 5 の割合で混合したものを使って軽くスプレー塗装することをおすすめします。

グリルの塗装は、スピーカーに取り付けたままでは行わないください。

グリル下敷きにも塗装する必要がある場合、グリルの塗装と同じ手順で行ってください。

図 6



## ■ AccuFit IW7 Three 仕様

スピーカータイプ	ツーウェイ、短興行き、完全密閉型スチール筐体
ツイーター	可動型 1" アルミニウムドーム型
ウーファー	7" アルミニウムコーン型
インピーダンス	8 オーム
入力感度	91dB 1W/1m
周波数調整	前部取り付け高音域スイッチによる 3 ポジションの高音域調整 : -3dB、フラット、+3dB
周波数特性	40Hz - 20kHz
出力	5 ~ 125 ワット
カットアウト寸法 (高さ X 幅)	H330mm x W210mm
寸法 (直径 X 幅 X 奥行き)	H369mm x W250mm x D70mm

※製品の特徴や仕様が予告なく変更されることがあります。

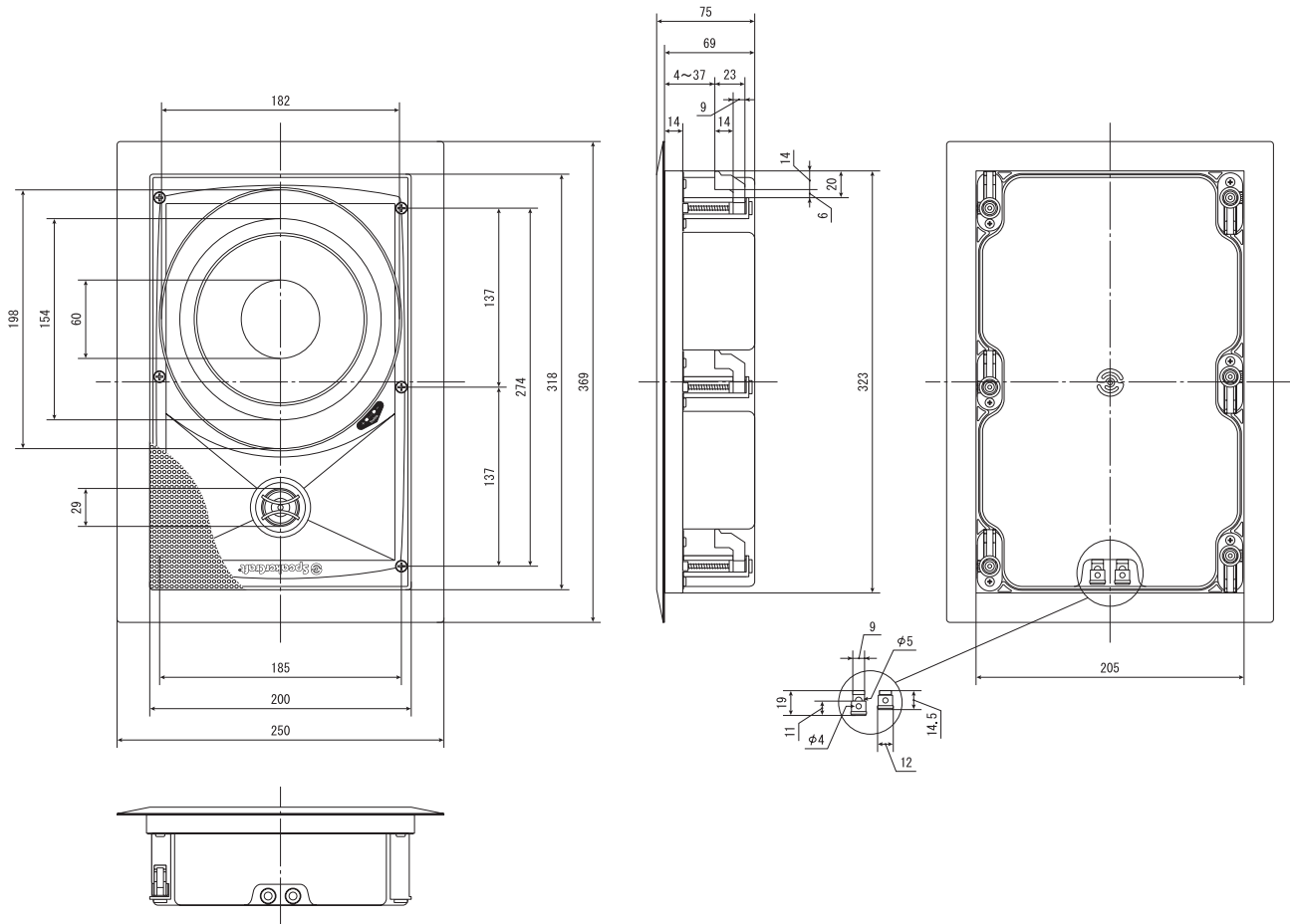
# AccuFit IW7 Three 設置マニュアル

## AccuFit IW7 Three

外形寸法：高さ 369 × 幅 250 × 奥行き 75mm

カットアウト寸法：高さ 330 × 幅 210mm

重量：2.5 kg



# SpeakerCraft®

輸入販売元

**オーディーエス株式会社**

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5